

いち・にの・さんしん



原三信病院 広報誌

January 2007

NO. 18



日本医療機能評価機構認定病院

病院理念

病人のための病院



作品：写真部提供（田中満行「飛翔」）

病院基本方針

- 一、質の高い医療
- 一、居心地の良い環境
- 一、心のこもったサービス

健康回復の手助けに

診療技術部長 奥野重雄

新年あけましておめでとございませう。

昨年、医療制度改革関連法が可決して実行となりましたが、この中の一つに生活習慣病の予防があります。特にメタボリック症候群についてはマスコミ等で話題とされ多くの国民に広く知れ渡り健康への関心が高まりました。

近年、豊かな食生活と欧米化そして偏った食事や運動不足また塩分、カロリーの過剰摂取などが加わり気が付いてみると既に生活習慣病の畏にかかってしまった方も多いのではないのでしょうか。

私も診療技術部は様々なライセンスをもった職種の技術者で構成されております。

CTによる内臓脂肪の測定や動脈硬化の検査、頸、腹部エコー、服薬指導、リハビリテーション、生活改善に必要な食事栄養指導などと診療における縁の下力持ち役が専門の知識や技術で患者様の病気治療や健康の回復の手助けをしています。

また、チーム医療などにも積極的に参加し様々な角度から患者様の視点に立ち患者様本位の良質な医療を提供できるように日々努力するよう心がけています。

技術部では最近部屋から外に出て直接患者様と接する業務へと遅まきながら変化してきました。

精度の高い技術は勿論です

が、優しさや思いやりをもっての対応を心がけてまいります。

どうぞ宜しくお願いいたします。



病院にゆゝす

外来化学療法室を開設しました

本年7月から外来化学療法室の運用を開始しました。

従来がん化学療法は入院で行われていましたが、近年副作用対策の進歩により必ずしも入院を必要としない化学療法も増えたため、ご自宅で日常生活を送りながら外来で治療できるように、化学療法を受けられる患者様のクオリティ・オブ・ライフ(QOL 人生の充実度)を高める目的で開設した治療室です。

外来化学療法室は、安全で確実な治療を行うため、担当医師2名、看護師2名、薬剤師が一体となり、各科の外来主治医と協力して、質の高い治療と治療環境を提供できるよう努めています。

外来化学療法室は化学療法を行う患者様だけが受診される治療室であり、完全予約制になっています。

化学療法を受けられる患者様は、受付後に直接外来化学療法室に来ていただき、その場で採血検査を行った後に、点滴治療を受けていただきます。

担当看護師も2名が固定されており、患者様ご声を掛けやすい環境を提供するよう努めていますので、治療についてご不明な点、お悩みの点があれば、お気軽にお尋ね下さい。

スタッフ一同、治療を受けられる患者様に、訪れやすいより良い環境を提供できるように、今後も更に努力していきたいと考えています。



血液内科副部長 上村 智彦

医療ドックウス

「乳がん診断最前線 (マンモトーム)について」

マンモトームとは、乳房生検専用の装置で、画像装置(マンモグラフィまたは超音波)を用いて位置を決めて非触知乳癌(しこりとして触れることができない癌)から組織を採取する器械のことです。



当院ではマンモトーム検査はマンモグラフィでしか指摘できない石灰化病変から組織を採取する手段として行っています。具体的には乳房を圧迫して2方向からレントゲン撮影をして、

コンピュータにより生検針を刺入する角度、深さを決定し、石灰化病変を切除します。

マンモグラフィで病変の位置を確認しながら十分な量の組織を採取できるように正診率(がんをがん判定できた率)は、ほぼ100%の信頼度が高い検査です。

マンモトームの特徴としては

●傷痕は、5mm以下の傷で、縫合の必要はありません。

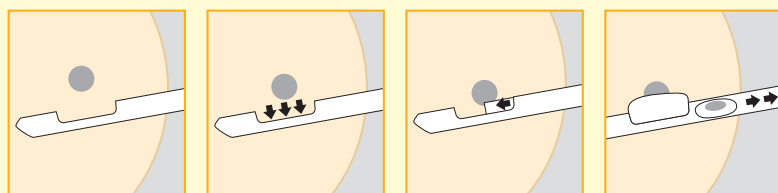
●乳房の変形はありません

●局所麻酔をするので生検時の痛みはありません

●検査時間は40分程度で終わります

より詳しい検査内容については外科外来担当医にお問合せください。

■マンモトームの流れ 自動吸引装置が組織を吸引します。



①位置決め ②吸引 ③切除 ④組織の回収

外科 白羽根 健吾

薬のママ知識

「塗り薬」について

塗り薬とは皮膚や粘膜に直接塗る薬のことです。軟膏、クリーム、ローションなどがあります。

ローションは広範囲に塗りやすい液状の薬剤です。では軟膏とクリームの違いはご存知ですか。この2つの大きな違いは「基剤」によるものです。基剤とはベースとなるものでこれに薬剤を加えます。

■軟膏とは...

油脂性基剤の塗り薬で皮膚保護作用が強く、水を弾き、刺激も少ないためじゅくじゅくした所に塗るのに適しています。

しかしベタつき感があり、皮膚への浸透はあまり良くありません。

■クリームとは...

水と油を混ぜた乳剤性基剤の塗り薬で軟膏ほどベタつき感がなく、水で洗い流すことができます。皮膚へ浸透しやすいのですが界面活性剤・防腐剤などが含まれており、皮膚への刺激があります。

塗り薬を使用するときは患部を清潔にし、薄く伸ばして塗るようにしましょう。また塗る場所や症状によって適した薬が異なりますので、指示された場所以外には塗らないようにしましょう。

薬剤科 田辺 順子

職場紹介コーナー
企画室編



病院の企画ってどんな事をするんだらう?と思われる方は多いでしょう。医療を取り巻く環境は日々変化してきています。そんな中で病院の置かれている状況を客観的に把握・分析していかなければなりません。

そもそも病院という所は、専門職の集団で、かつ自己主張の強い個性を持った人達が共に働いていますので、

多岐にわたる課題が浮上してきます。いくつもの部門に関連する問題点や課題を解決する上で、技術的にサポートする機能を持った部門として、また、院内における新しい取り組みを実施していく上で、プランニングを行い計画実施に向けたプロセスをマネジメントしていく部門が必要であると考え、平成元年に院長直轄の部署として『企画室』が誕生しました。言い換えれば、黒子的な存在(縁の下の力持ち)です。

現在、企画室は4名で院外からのコンサルタントを含め計5名で、日々業務に当たっています。企画室の主な業務は次の通りです。

- ① 1年間の病院事業計画の策定及び推進
- ② 経営実態の把握・分析
- ③ 各部門からの問題点や課題解決へのサポート
- ④ 新規取り組み課題(プロジェクト)の推進・サポート
- ⑤ 主な会議や委員会の事務局
- ⑥ 院内及び院外の広報活動

患者様とは直接接する部門ではありませんが、患者様が院内外で目にする案内板やポスター・ホームページ、手にとって御覧になられる広報誌やパンフレットも全て企画室作成のものです。少しでも、患者様の診療の手助けができて、安心して病院受診がしていただけるような環境づくりを、スタッフ一同で企画立案していきたいと考えています。

企画室室長 藤原 勝

医学雑学講座

腰痛について(整形外科編その④)

最終回は高齢者に頻度の高い「圧迫骨折」について説明します。

骨粗鬆症を基に起こってくる圧迫骨折は、転倒などの外力が加わって生じることが多いですが、明らかな外傷がなく、前にかがんだ拍子やくしゃみのはずみでも起こることがあります。骨折ですから強い痛みが長く続き、特に寝たり起きたりする時に激しく痛みます。起きてしまうとそれなりに動きが取れる場合もあります。軽度の圧迫骨折の場合は1ヶ月程度で自然に骨が固まってしまうものもありますが、きつくと治療をしないと骨の圧潰が進んで、図のように「く」の字の後弯変形を残したり、骨が癒合しないまま(偽関節)になったり、骨片が脊柱管に突出して神経組織を圧迫し、下肢の麻痺や排尿障害をもたらすこともあります。こうなると慢性的な痛みが残り日常生活への支障が大きくなってしまい、「寝たきり」の原因にもなります。



骨折なし



軽症圧迫骨折(多発性)



高度圧潰、局所後弯

ありますので、1週間経っても痛みが引かない場合は、もう一度レントゲン撮影を受けることをお勧めします。

治療は安静(この場合は厳密なベッド上安静が必要)とコルセットが主体ですが、きちんと治療すれば大部分は大きな問題を残さない程度に治っていきます。そのためには、特に初期治療が重要ですから、強い腰痛を感じたら、すぐに入院治療ができる整形外科を受診しましょう。



整形外科部長 高島 一雄

編集後記

新年明けましておめでとうございます。当院では、7月より「外来化学療法室」を開設しました。また「ピンクリボン」という言葉を最近よく耳にしますが、乳癌診断を行うマンモトーム生検も開始し、早期発見に努めています。これからも患者様の立場に立った医療をすすめて参ります。この広報誌に対する皆様のご意見も含め、意見箱などを通じお聞かせ頂ければ幸いです。

広報委員会 委員長 原 直彦

- 当院は、救急指定病院です。急患の患者様は救急外来にて**24時間365日診察**を行っています。
- 当院では医療機関の機能分担と地域連携を推進しています。従いまして、他の医療機関に受診中の方は**紹介状**をご持参下さいますようお願いいたします。



わが町の ホームドクター



ホームドクターのご紹介をさせていただきます。私たちは、地域の先生方と協力して皆様のお役に立つよう努めています。どんなことでもホームドクターにご相談ください。 ※ 診療時間は各施設にお問い合わせくださいますようお願いいたします。



施設名

やましたクリニック

登録医 山下 弘幸

住所 福岡市博多区下呉服町2丁目13 双和ビル4F

電話番号 092 (281) 1300

診療科 内科、外科(甲状腺・副甲状腺専門)



施設名

ビジョナリーさぎやま泌尿器クリニック

登録医 鷺山 和幸

住所 福岡市中央区天神1丁目3-38 天神121ビル3F

電話番号 092 (720) 3077

診療科 泌尿器科



施設名

矢住医院

登録医 矢住 孝昭

住所 福岡市博多区美野島2丁目11-16

電話番号 092 (451) 0527

診療科 内科、小児科



施設名

近藤リウマチ整形外科クリニック

登録医 近藤 正一

住所 福岡市中央区天神3丁目10-11 五十君ビル2F

電話番号 092 (762) 2380

診療科 整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科



施設名

犬塚内科小児科医院

登録医 犬塚 貞秀

住所 福岡市東区香椎浜2丁目4-12

電話番号 092 (671) 2150

診療科 内科、小児科



施設名

田中医院

登録医 田中 國雄

住所 福岡市東区高美台2丁目4-18

電話番号 092 (606) 2111

診療科 内科、小児科、胃腸科、呼吸器科、循環器科



※ここでご紹介する先生方は、当院の開放型病院制度(医院・クリニックの医師が当院において共同で診療ができる)の登録医になって頂いている先生です。

救急指定
原三信病院
日本医療機能評価機構認定病院



TEL ■ 092 (291) 3434
FAX ■ 092 (291) 3424
E-mail ■ info@harasanshin.or.jp



<http://www.harasanshin.or.jp>

● 診療時間

月～金曜日 9:00～13:00 14:00～17:00
土曜日 9:00～13:00

※日・祝祭日および8月15日・12月31日～1月3日はお休みです。但し、急患の患者様は、救急外来にて診察いたします。

● 診療科目

総合診療科・循環器科・消化器科・呼吸器科・糖尿病科・リウマチ科・外科・血液内科・腎臓内科・脳神経内科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・産婦人科・放射線科・麻酔科・臨床病理科・歯科・人間ドック・睡眠呼吸障害センター